事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

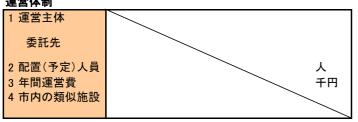
	<u>Т</u> П		名	称		区分	コード		名	称		
事業名	22_2	4テナヒ ユ ℷ理:	培敕馮重業/敕	(供車業)		会計	01	一般会計				
尹未石	33-2	街なみ環境整備事業(整備事業)				款	08	土木費				
基本	27	独皮の由	にまにぎわいの	ある都市空間をつくる		項	04	都市計画費				
施策	21	大プリヤ	1	目	02	市街地整備推進費						
施策	2	₩ IZ ±+ ^	ジル世相の批准			細目	101	市街地整備推送	進事業			
心束	2	地区まちづくり構想の推進				細々目	04	街なみ環境整備事業				
基本	計画該	当頁		117	行	革大綱	の重点	点事項番号		1.4.6		
担当部課	<u> </u>		19	0800		评価者		田中 秀樹	連絡先	22 -	9825	
교의마하	名称		建設部市	街地対策課		氏 名		山中 方倒	廷帕兀	(内線)	2820	

	事業	の計画・内容							
Ī		対象等(何を、誰を)		成果(どうなるのか)					
	事業目的	中心市街地区域内	居住人する。	口増と観光客の誘致により、中心市街地の賑わいを創出					
		(※対象件数)							
	根拠	処法令・要綱等 街なみ環境整備事業制度要綱							
ŀ		始年度 平成 13 年度 関連事業 市街地再開発 了年度 平成 29 年度 市街地再開発	事業、中	心市街地活性化のための各種推進事業					
	事業内容	伊賀市の象徴である城下町を構成する"うえのまち"地区にいて「暮らしやすい・暮らしたくなるまち」、「城下町としての歴史性や文化を大切にしたまち」を目指し、「街なみ環境整備事業」を活用した良好な街なみ形成を推進する。また、中心市街地活性化基本計画のコンセプトのひとつであ「歩くまち(回遊性の強化)」の実現に向けて、当事業が位置けられており、20年度は道路美装化にかかる測量設計を行た。	状況変化	平成20年度より整備事業を開始しており、21年度からは 道路美装化工事を実施し、目に見えた形で整備が進んでいくため、事業への関心も高まる。 また、21年度より広場整備の設計業務において市民参加型のワークショップを予定している。 地域交流センター(23年度完成予定)についても取り組みを行う。					

整備内容 1 建設用地

1 建設用地	うえのまち地区233ha (上野中町ほか33町)
2 建設面積(延床面積)	道路美装化 26,905㎡ 広場整備 4ヶ所 4,840㎡
3 規模・構造	
4 総事業費	1.651.576 壬円

運営体制



事業種別 継続 補助 事業類型 Ⅲ 整備事業

事業実績

子不入恨							
活動指標	単位	実網	漬値	目標値			
点 到相保 	1 平位	H19	H20	H21	H22		
		目標	目標				
	Ш	実績	実績				
	件	目標	目標				
	1+	実績	実績				
		目標	目標				
		実績	実績				

2次評価対象分

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位		実終	目標値			
事業の成素を測る指標	拍標設定の考え力	平过		H19		H20	H21	H22
一日あたりの通行量	中心市街地の回遊性を高める事業として位	ı	目標	_	目標	4262	4.956	5.650
一口のたりの通1] 里 	置づけられている。	^	実績	3915	実績	3,989	4,930	5,650
			目標		目標			
			実績		実績			

評価		
評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	中心市街地活性化基本計画のコンセプトである「歩くまち」の実現に向けて、市街地の回遊性を高める道路美装化及びポケットパークの整備は主要事業として位置づけられていることから活性化のための必要性は高い。
有効性	3	当事業の実施により市街地の回遊性が高まり、観光客や地域住民が歩くことでにぎわいの創出が図れる。また、広場や地域交流センターについても、設計段階から地域を中心としたワークショップを開催することで満足度の高い施設の整備を行っていくことで有効性の高い事業となる。
達成度	4	20年度までは事業計画に沿った進捗である。
効率性	4	事業費の1/2について国庫補助を受けることから、市負担額が圧縮される。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
Α	拡大	本格的な事業開始にともない、建設部全体で事業展開ができるよう実施体制を整え、調整を行っていく。

	年度 19 20 21 22 23 平成19年度 決算内容							平成20年度 決算内容 平成21年度								22年度 計画内容		平成23	平成23年度 計画内容			平成24年度 計画内容							
	十茂	' I	9 20	21	22	23		事業内容	数量	単位	金 額	事業内容	数量単	金位 金	額	事業内容	数量単	単位	金 額	事業内容	数量単位	金額	事業内容	数量	単位	金 額	事業内容	数量 単位	金 額
進											(千円)				(千円)				(千円)			(千円)				(千円)			(千円)
	委託	K		-		\sim		街なみ環境整備事業計画策定	1	式	4,649					旅費				測量設計委託料		33,620	測量設計委託料			13,840	測量設計委託料		27,660
抄			7				車					需用費			85	需用費				工事費		229,993	工事費			369,190	工事費		221,380
							学					測量設計委託料			6,795	測量設計委託料			8,322	用地費		120,607	用地費			116,400	用地費		
状	工事	:				╧	木					使用料				工事費			68,816				事務費				事務費		5,721
				7		extstyle extstyle extstyle extstyle extstyle extstyle 1	宓									協議会助成金			200	協議会助成金		200	協議会助成金			200	協議会助成金		200
沂																													
	用地	.			$\langle \Box$	$K\Box$																							
					`																								
	進捗率	٥	5 00	5.6	20.4	60.3																							
	(%)	0.	.5 0.5	3.0	29.4	00.5		事業費計(A)		Σ	4,649	事業費計(A)		Σ	6,902	事業費計(A)		Σ	77,703	事業費計(A)	Σ	392,872	事業費計(A)		Σ	510,617	事業費計(A)	Σ	254,961
		事	業投入	人人員	l			人件費(B)	2.0	人	14,400	人件費(B)	2.0	人	14,400	人件費(B)	2.0	人	14,400	人件費(B)	2.0 人	14,400	人件費(B)	2.0	人	14,400	人件費(B)	2.0 人	14,400
			771	/A\	I (D)		\dashv																		_				060.061
		ノル.	コスト	(A)	T(B)						19,049				21,302				92,103			407,272				525,017			269,361

事業費(人件費除く)の財源内訳

_ 3	FÆ.	1(八十)(水)/火州水川川						
	(A)	事業費	4,649	6,902	77,703	392,872	510,617	254,961
		国庫支出金	1,966	3,447	37,129	196,336	255,209	127,381
	A	県 支 出 金						
	の日	地方債						
	河 [受益者負担						
	<u>焃</u>	そ の 他						
	訳し	一 般 財 源	2,683	3,455	40,574	196,536	255,409	127,581
	ш, (計	4,649	,				
	借	その他特定財源の名称・補助基本額・						街なみ環境整備事業
1 1 2	老			(街なみ整備事業1/2)	(街なみ整備事業1/2)	(街なみ整備事業1/2)	(街なみ整備事業1/2)	(街なみ整備事業1/2)
		地方債の区分と充当率等	成事業1/3)					